

登山の実施結果について(令和7年5月29日～同年7月2日実施分)

【山岳部】

No	学校名	行事名	実施山域	実施日	日数	参加生徒数	引率者	ルート及び通過時間	登山アドバイザー帯同			天候(上段) 積雪量(下段)	特に配慮した点の特記事項	ヒヤリハット事例			
									人数	資格	要件			具体的内容	背景要因	改善策	委員からの助言
1	宇都宮高等学校	令和7年度新入部員歓迎登山	中倉山・沢入山(日光市)	令和7年6月15日	1日(日帰り)	14名	3名 湯澤真一 鶴見勝司 渡部裕次郎	宇高(6:45)・・・銅鞮水公園出発(8:25)・・・中倉山取付口(9:10)・・・尾根道取付点(10:10)・・・中倉山山頂(11:07)・・・孤高のブナ(11:10)・・・下山はトラバース道を利用。中倉山取付口(12:50)・・・銅鞮水公園到着(13:35)・・・宇高(14:35)	1名	日本スポーツ協会公認山岳コーチ1	第1号	曇りのち晴れ 0cm	・雨が降り止み気温が上がることが予想されたため、熱中症対策(水分補給のタイミング・塩分や糖分の摂取)について・着衣の調節)について十分指導した。 ・前日から朝方までの雨の影響や熱中症予防への対策として、沢入山までは向かわず、孤高のブナからトラバース道で引き返すことにした。 ・急登ではベース配分に注意すること、スモールステップで大股で歩かないこと、雨の影響で滑りやすい下り時にはスリップや落石を起こさないことなどについて確認し、指導した。 ・現在位置の確認や鞍部手前の隠れピーク(地図上には現われないピーク)の発見など、山での読図の実際についても確認した。	特になし	特になし	特になし	問題なし
2	大田原高等学校	水無月縦走	七ヶ岳(福島県南会津町)	令和7年6月7日～6月8日	1泊2日	17名	2名 高梨和幸 小磯怜士	学校集合4:40・学校出発5:00(=バス)⇒キャンプ場8:00・・・分岐3(予定を変更して公道を歩いた)・・・分岐4:9:45・・・下岳10:45・・・三番岳11:30(昼食40分)出発12:10・・・分岐4:13:20・・・分岐3(予定を変更して公道を歩いた)・・・キャンプ場(その後幕営)	1名	日本スポーツ協会公認山岳コーチ1	第1号	晴れ 0cm	・1年生が2名欠席(百日咳、風邪)し、17名での実施となった。 ・集合時間に遅れる生徒が1名おり連絡もつかなかったため予定通りの時間でバスを出発させた。出発して20分後に本人から連絡があり寝坊とのことで、自宅にいるとのことだった。遅刻の生徒を塩原で合流させて登山にむかうことにした。 ・時間が1時間以上押したため、七ヶ岳に向かういつ、時間をみながら途中で下山することを全員で情報共有し、登山を開始した。七ヶ岳手前の三番岳で昼食をとり下山することにした。結果的には想定内の時間で無事に下山した。 ・翌日の高倉山では、下見の結果山頂付近が3m程度の低木が乱立しており、無理して登る場所ではないと判断し、町内の散策に切り替えた(予め地図に行程を書き込み、その通りに6km程度歩くという「読図」練習を実施)。	・大幅に遅刻する生徒がいた。 ・しりもちをついた生徒が数名いた。	・起きる時間を親任せにしていた。 ・急な斜面で落ち葉の堆積が激しい数百メートルの行程だった。	・アラーム等で起きるように生活習慣を変える、と本人は話していた。また、朝イチの早起き時(出発する前)にSNS等で天気、大気の安定度、発電確率等の情報共有の他、起きていることなどの確認も方法の一つかもしれないと指導した。寝坊に関しては本人や保護者から謝罪があり、計画変更に関しては連絡や調整等、顧問や生徒が協力して対応できた。遅刻に関しては問題だが、その後とるべき態度や臨機応変に計画を変更する作業を学ぶという点ではよい経験になった。 ・しりもちをつくのは予想していたので、そのポイントを降りる前に全員集め、具体的な対策法を演習しながら情報共有した。	問題なし